

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	0
施設名	にこ森保育園
施設所在地	青梅市新町4-14-16
法人名	株式会社モアスマイルプロジェクト

1. 活動のテーマ

<テーマ>

【①テーマを決める】

自然（生殖体）

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

四季を感じられる園庭には、様々な虫がやってくる。なぜ飛べる虫と飛べない虫がいるのか？なぜ土の中で生活する虫がいるのか？など子どもたちの虫への関心は無限大。その虫を通して生態系への関心を深めるため。また、木々も生殖体の一つと考え、いろいろな木や葉を使って自分の好きなものを作ったり、匂いを嗅いでみたり、さわり心地の違いを感じたりすることで、五感を育む。

2. 活動スケジュール

令和6年5月～令和7年3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【②問いを考える】

「虫はなんで飛べるの?」「虫にはおうちがないの?」などという子どもたちから発せられた疑問を問いとして設定する。

【③環境をデザインする】

1. 虫かご、網、カップ
2. 自社が保有している山へ行くための車

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

実際に山の中を探索し、土を掘り起こしたり木や落ち葉をどかして虫探しを行う。虫を見つけたらそっと捕まえるが危険な虫もいるためよく観察し、図鑑などで調べたり素手で触らないようにしながら虫を捕まえる。虫のお家がない為虫かごに住みやすいように葉っぱの布団や木の遊び場を作って虫のお家を作成する。地面が膨らんでいるところを見つけ掘り起こし何が済んでいる穴か考え何で土が盛り上がっているのかをみんなで話し合いながら観察して楽しむ。自然物を集め釘やボンドを使ってそれぞれ好きな形を作って楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

落ち葉の下にじっとしていた虫を見つけ観察していると突然虫が動き出し急いで土の中にもぐった。「どうして土にもぐるのかな」「恥ずかしいのかな?捕まりたくないんだよ」と言った声が出た。寒い季節だったので「もしかしたら寒かったのかもしれないよ」と保育者が伝えると「そうかも!!早くお布団かけてあげなきゃ」と柔らかい落ち葉をかけていた。土が盛り上がっているところを見つけるとなんだと不思議そうに見ていた。保育者がモグラの巣かもと話すと盛り上がっている土の道をたどって穴を発見し木の棒を突っ込んで「モグラさんいますか〜」と声を掛けていた。「モグラさんが通るところの土と通らないところの土を踏んで硬さを確かめてみよう」と伝えると柔らかいところと硬いところを見つけ「モグラは土を掘るから柔らかいんだ」と考えてみんなに伝えている子がいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

山も中で子どもたちが自分からいろいろなところを探索しに行きながら、とげが出ている枝は危ないとか、動物のフンを見つけて何の動物か考えたり自然の中で五感を研ぎ澄まし発見している場面が多く見られた。自然物に触れていくことでどうして土が柔らかいのか、木で制作をすることで柔らかい木もあれば硬い木もあり実際釘を使ってくっつけたり、のこぎりを使って木を切ることで素材の質感などを実際に感じどうしてだろうと考えることができた。言葉や写真で見せるのではなく自分の目で見てそのものに触れる事での発見が多いことを実感できた。